

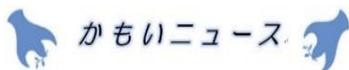
2023年6月11日

主日礼拝

①10:30 ②13:00

司会：① 百瀬葉子 ② 橋口栄隆

ブレイズ		
黙禱/祈禱		(司会者)
主の祈り		(起立)
聖書	コリント人への第一の手紙 13章 13節	
救いの証し		神田健博
VTR メッセージ「このように、あなたも私もライオン丸」		柴田順一牧師
祈禱		
頌栄	God Bless You (新聖歌 198)	(起立)
お祈り		



- ◇ ようこそ「横浜カルバリーチャペル」へ！ 歓迎します！ *Welcome On Board!*  
本日の YC カフェ は、礼拝後にオープンします。
- ☕ ブルーマウンテンブレンド ☕ アッサムティー (各¥100)
- ◇ YC カフェは来週で1周年！ 個数限定のスペシャルあり。お楽しみに。
- ◇ 聖書ガイド「リビングライフ6月号」(¥650)は残り僅かです。お早めに。
- ◇ タウンニュース「心のエステ」6月号が受付にあります。どなたもどうぞ。
- ◇ 毎週土曜 13時半から礼拝堂お掃除。どなたも参加できます！
- ◇ 礼拝献金、什一献金等すべての献金は、受付前木製献金箱をご利用下さい。
- ◇ 献金口座：「横浜カルバリーチャペル」三菱 UFJ 銀行大和支店 1204671

- 本日の集会 10:30「キッズチャーチ」4F 集合  
\*本日の聖書入門講座はありません。来週日曜 12時～
- 今週の集会 木曜 10:30～「オープン祈禱会」4F 「牧師面談」5F

このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大いなるものは、愛である。  
コリント人への第一の手紙 13章13節

### 「礼拝は魂のワクチン」



朝、ベッドから出て来ないわが子を持つお母さんの話です。日曜朝、息子の部屋の戸を叩いてお母さんが叫びます。「息子よ、早く起きなさい！ 礼拝に遅れますよ！」すると息子の声が、「教会行きたくない！ みんな僕のこと好きじゃないし、僕の話も聞いてくれない。だから僕は家で寝てる！」。お母さんが「それはだめです。日曜日は教会です。早く起きなさい」と言うと、「じゃあ、教会へ行かなければならない理由を2つ言って！」と言うではないですか。お母さんが、「わかったわ、よく聞きなさいよ。第一に、あなたはもう42歳で子供ではありません。そして第二に、あなたがその教会の牧師です」。。。

これは、単なる笑い話でいいのか？ 或いは、この牧師に同情するべきなのか？ 私も、確かに日曜の朝は、目覚まし時計ではなく、これから語る礼拝説教や、その日の聖務、その責任の重さに緊張して目が覚めるというのが日曜の朝です。

私にとっての今日の礼拝は、行きたくても行けないという、これまた同様に辛い聖日の朝です。15年程前のあの朝も、私は教会ではなく大和私立病院に搬送されました。委ねられた責務を果たしたくても、この体は痛みで占領され、息をすることさえ必死でした。昔聞いた「牧師は講壇で死ねたら本望」。少し憧れた時期もありましたが、今、冷静に考えれば、これ、周りの方々にどれだけ迷惑や混乱になることやら。とにかく、主に在る私達の魂には、聖日礼拝に出られないということが、どれだけ痛み苦しみであるのかと思うのです。

前置きが長くなりましたが、私は月曜に発熱し(39.7℃)、火曜の検査でコロナ陽性でした。金曜夜の時点でまだ症状があり、家内も発熱したため、教会所属医師団のご指導の下、本日の礼拝説教は7歳若い私となりました。既にこの教会には若き梅津伝道師をはじめ、どこの教会にも劣らない献身的で素晴らしい主の奉仕者達がおりますので、この牧師はいつでも安心して逝けます(「休めます」の間違いでした)。コロナが5類と緩和されて1か月。それは単なる人間の都合でしかありません。僅かな心の油断やおごりが最も危険なのです。それは罪に対する私達の状態と同じです。洗礼というワクチンを受けたから私はもう大丈夫！ は危険です。今日も主の前に謙遜にそして真剣にみ言葉を聴き、主の命に与りましょう。来週、元気な笑顔でお会いいたします！ ハレルヤ！

### 今週の聖書通読 リビングライフ6月号

11 日	哀歌	3:19-39	15 木	哀歌	4:11-22
12 月	哀歌	340-54	16 金	哀歌	5:1-14
13 火	哀歌	3:55-56	17 土	哀歌	5:15-22
14 水	哀歌	4:1-10	18 日	使徒行伝	1:1-1